



腎臓内科のご紹介

土田 雅史

いつも大変お世話になっております。昨年4月より従事させていただいております腎臓内科の土田雅史と申します。前任地である魚沼基幹病院を含めますと当地域の医療に携わり早4年を迎えようとしておりますが、微力ながら貢献できればこれ以上の喜びはありません。

さて、透析室の近況ですが、当院および付属十日町診療所では、現在それぞれ約100名、130名の血液透析患者さんが通院されておられます。いずれも地域唯一の透析医療機関であり、患者さんの住所を見ますと本院では長岡市川口、山古志地区、魚沼地域、越路地区、小国地区から、また十日町診療所ですと、津南、松之山地域を含む長野県境や、上越市大島区、柏崎市高柳地区等々からと、遠方から患者さんが1日おきに透析に通院されているのが特徴です。都会と違いアクセスは良いとはいえませんし、昨冬は小雪でしたが冬は豪雪地帯ですので、通院にあたっては常に患者さんに大きな負担が伴う問題があります。

腎代替療法は血液透析の他に、腹膜透析、腎移植があり、それぞれ長所短所があります。当院においても透析導入が迫りつつある慢性腎臓病患者さんに対しては昨年4月より運用している腎代替療法選択外来を受診いただき、ご本人が納得して最適な腎代替療法を提供できるように努めています。その結果、腹膜透析患者さんは6名、腎移植患者さんは1名となりました。

超高齢化社会に向けた地域医療のあり方として、地域包括ケアシステムの拡充が謳われていますが、高齢者の腎不全患者さんへの腎代替療法は当地域においても喫緊の課題であります。通院の頻度が少なく循環変動が少ない穏やかな透析である腹膜透析は、デバイスの進歩でより安全簡便になり、当地域の高齢者の腎不全に対する一つの打開策ではないかと考えられます。診療報酬改定で往診や施設嘱託医の診療と腎臓病専門医療機関での二重の診療報酬が認められるようになり、一層病診連携の重要性が増しております。引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、切にお願い申し上げます。

また、慢性腎臓病(Chronic Kidney Disease:CKD)に関しては、早期診断・早期治療介入を通して、生命予後の延伸・透析導入の減少が期待できます。腎機能正常でも尿検査異常の患者さんがおられましたら、遠慮なくご相談ご紹介いただけますでしょうか。今後ともよろしくお願い申し上げます。

～ 病診連携より ～

現在「腎臓内科」の受診ご依頼をいただいた際には、頂戴いたしました診療情報提供書を腎臓内科医師確認後、受診ご案内をさせていただいております。ご案内にお時間を頂戴しておりますがご理解のほどよろしくお願い申し上げます。





感染管理認定看護師より感染について 感染管理認定看護師 廣井瑞江

感染管理認定看護師は日本看護協会が認定する資格で、「熟練した看護技術・知識を用いて水準の高い看護を実践し、看護職等に対して指導や相談を行うこと」を責務とし、新潟県では48人が登録されています。私は小千谷総合病院開設時から、施設全体の感染予防・管理システムの整備・運営を担当しています。また、地域の医療機関や老人保健施設、学校・保育所等への研修やコンサルテーション等もお引き受けしていますのでお困りの際はご相談ください。当院における新しい生活様式をお伝えします。

小千谷総合病院における新しい生活様式

小千谷総合病院では、新型コロナウイルス感染症をきっかけとして新しい生活様式を受け入れ、より一層感染対策に留意し安全な医療の提供を行っていきたく考えます。

入館されるすべての方へ

- ・院内に立ち入る方すべてに健康観察（ご自宅での検温・体調管理）をお願いしています。
- ・必ずマスクを着用し口と鼻を覆ってください。布マスクでもよいです。（マウスガードやフェイスガードはすき間があるのでマスクの代わりにはなりません）
- ・マスクができない病状の方は、対面で会話するのを避け、袖で口を覆うなど、咳エチケットをお願いします。
- ・石鹸と流水で手洗いをしてください。アルコール消毒でなくてもウイルスを除去できます。

待合室について

待合室は3密（密集・密接・密閉）防止策を実施しています。

- ・病院内はビル空調により必要な換気状態を維持管理しています。
- ・ソファに身体的距離確保の表示をしていますが、マスク着用や、不要な会話をしないなど、密接リスク低減にご協力ください。（マスクをお持ちでない方は売店や自動販売機で購入してください）
- ・入館者全員にマスク着用をお願いしており飛沫発生がないためビニールカーテン等は設置していません。
- ・呼吸器症状のある方が多く受診する科では中待合室への扉を開放してドアに多数の方が触れることを避ける接触予防策や、必要時は窓を開けるなどの対策を実施しています。

受診される方へ

- ・受診される方は受付票の問診（発熱の有無など）にお答えいただけます。
- ・再来予約の方で、発熱や呼吸器症状、いつもと違う症状がある場合、事前に電話でご相談ください。
- ・相談なく来院された場合は、受付にすみやかに申し出ください。
- ・新患の方は全員に問診票を記入していただき、発熱や呼吸器症状、旅行やイベントへの参加等についてお尋ねします。
- ・発熱、呼吸器症状がある方は、別の待合室でお待ちいただきます。

新型コロナウイルス感染症について

- ・新型コロナウイルスを疑うような行動歴・接触歴・症状等がある方は来院される前に、まず県国者・接触者相談センターにご相談ください。
平日（8:30～17:15）
長岡保健所 0258-33-4932
土・日・祝日（8:30～17:15）
長岡保健所 0258-38-2501
夜間（17:15～翌日8:30）
県健康対策課 025-256-8275
- ・相談センターから「疑いは低いので通常の受診をするように」と勧められて当院を受診する場合は必ずそのことをスタッフにお伝えください
- ・新型コロナウイルスの検査は、相談センターから指定された医療機関で実施します。直接医療機関を受診しても検査できませんので、必ず相談センターにご相談ください。

入院予定の患者様へ

- ・入院・手術・検査等を受ける患者様には、予定の2週間前から海外渡航・旅行・イベント参加など移動や不特定多数の人と関わる行動を避けて体調の管理を十分に行い健康観察記録をしていただくようお願いしております。
- ・健康観察期間に発熱・呼吸症状などが発生した場合、予定を変更させていただく場合がありますのでご理解・ご協力をお願いします。

入院患者様への面会について

感染防止のため入院患者様への面会は原則禁止とさせていただきます。

（院内掲示やホームページ等でお知らせしています）個別の事情がおりの方はスタッフにご相談ください。

<面会可能な方>

1. 原則県内に居住されている方のご家族
2. 15歳以上の方
3. 患者様の病状から面会・付添い許可を受けている方
4. 病院からの依頼による場合（手術時の待機・手術の病状説明、重篤な症状・終末期の患者様など）
5. 入退院の送迎をされる方

<面会される際の注意事項>

1. 事前にご自宅で検温していただき、体温が37.5度以下であること
2. 発熱・のどの痛み・咳・倦怠感などの風邪症状や、味覚・嗅覚低下などの症状がないこと
3. 体調不良の方と接触がないこと
4. マスクを着用されること
5. 必ずナースステーションで面会申込書を提出すること
6. 面会前に手洗いすること
7. 原則1名で来院し、10分程度の短時間で面会すること

入院中の患者様へ

- ・病室外へ出る時や検査、リハビリ、売店など1・2階フロアに行く時は外来者からの感染防止のためマスクを着用していただきます（アクリルをひろげない、鼻部分に隙間がある、鼻出し等に注意してください）
- ・病室内ではマスクを外していても職員や面会者など病室に入る人がいる時は、必ず着用してください。

※2歳未満の幼児・呼吸器疾患、意識がない、自力でマスクを外せないなどの場合はこの限りではありません。

病院内での飲食について

- ・病院内での食事、休憩はできるだけご遠慮願います。
- ・院内に休憩室を設置していますが、食事中はマスクができないので飛沫対策が必要です。
- ・対面を避けて横並びに座り、お互いに会話をせずに食べましょう。
- ・配置されている机や椅子を移動させないようにお願いします。

病院内での待機・治療

- ・飛沫防止のため全員がマスクを着用し、ビル空調を考慮した会場と収容人数を対応しています
- ・飲食を伴う研修や集団指導は原則として行いません。
- ・身体的距離（1～2m）を設けるよう工夫し、不要な会話や大声を出さないようにします。
- ・研修会の時間をなるべく短くできるように工夫しています。





病診連携よりお知らせ



呼吸器内科 担当日変更

11月より呼吸器内科の診療が水曜日と金曜日（従来は月曜）となります

造影剤使用検査（CT・MRI）お申込み時のお願い

いつも沢山の検査ご依頼をいただきまして誠にありがとうございます
安全な検査をおこなう為に、検査お申込み時にeGFR値あるいは
血清クレアチニン値が記入されました「造影剤使用同意書」を一緒に
FAXをお願いいたします



少し早いですが…



年末年始休診日のお知らせです



12月31日（木）～1月3日（日）

編集後記

朝晩と肌寒くなってきており、あっという間に冬を迎え
そうですね。今回の連携室だよりは、感染管理認定看護
師より当院における新しい生活様式をご紹介いたしまし
た。皆様も感染対策に留意されまして、お過ごしくださ
い。本年も当院の地域連携にご協力いただきまして感謝
申し上げます。

J A新潟厚生連小千谷総合病院
患者サポートセンター

TEL : 0258-81-1616 (直通)

FAX : 0258-81-1602 (直通)